

【2016年度の総括】

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	159,956	98.7	↓
支出	169,945	100.1	→
経常収支差額	-9,989		↓

評価：収入減の大きな理由としては入院の長期化が挙げられる。医療的ケア（経管・経鼻栄養などの選択を迫られる等）が必要になっている利用者の入院が多くを占めている。また入院中の空室の活用も突発的に短期入所を利用したいという利用者も少ないのが背景として伺える。5～8月にかけてご逝去等で8名が立て続けに退居となり、職員のメンタル面も大変な時期であったが、空床を最小限に抑え、稼働が出来た。



② 職員配置と研修（職員数は2017年1月現在）

（職員配置）新人職員が5名入社されたが、3名の退職・派遣職員雇用するも、長期的に勤務希望をされない等のこともあった。（理由としては病気により勤務が困難・シフト制の為、通勤での疲労・職員との人間関係等）が挙げられる。また年度始まりより予定があった中堅職員の退職（田舎に帰る）も重なり、「根拠ある指導をする」という面では次年度の課題として残る。常勤職員不足が続いており、派遣職員雇用をしている状況である。

（研修）年度初めに特養としてどのような人材になってほしいか（入居者さんと喜怒哀楽を共にできる職員）を職員間で共通認識を持つ為に、研修を実施するが、途中経過の段階で、職員に再度意識を持ってもらう機会を設ける必要性もあったと感じる。また新人職員育成の為に、メンター制度を導入し、3階スペースを活用し、入居者さんと職員をユニットよりもさらに少人数で、買い物～調理、余暇なども含めて、入居者さんに関わりを持ってもらう「入居者さんと共に過ごそう」という研修を実施する。新人研修後も、定期的開催しようと試みるも、職員不足により、中断となってしまうが、成果としては入居者さんの表情も良く、職員も「こんな事が出来るんだ！」というお年寄りの力を改めて発見できる機会にも繋がったと思われる。

③ 事業内容

人財育成を主課題とするも、職員の定着・中堅職員の離職防止においては課題に残る。今後、職場環境・職員関係・仕事をするにあたり、働きやすい職場を作り、離職率軽減をいかに検討していくかを次年度に持ち越す形となる。

事業としての新たな取り組みとしては、地域に向けて入居者さんと一緒に実践をした「なごみ食堂」も毎月1回定期的開催する事が出来た。また10月～1ユニット限定であるが、厨房の食事提供を中止し、入居者さんの声を反映し、金曜日の夕食作りを開始している。

前年度同様に、個別のニーズを導き出し、ケアマネを中心とした支援の検討・企画の実施も継続して行っており、次年度においては今以上の質向上を図っていきたく捉えている。

【2017年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	162,000		入居 30 床・短期入所 5 床で稼働となり、前年度に比べると収入減（処遇加算増になるが実質は減）緊急の受け入れなどは積極的に行っていきたいと考える。
支出	145,997		開設 14 年目を迎え、建物設備、電化製品、家具なども不具合が起こる可能性あり。 職員の入れ替わりが大きく、その分賞与対象者が減るので、人件費減になったが、先を見据えての介護技能実習生制度の導入し、外国人雇用を実施し、職員不足の解消を検討していく。

② 主課題

前回の目的であった入居者さんと喜怒哀楽を共にできる職員育成を継続課題として、特養全体の人財育成を実施していく。(中堅職員の育成)

ユニットリーダーを軸とした新人職員の教育・入居者さんも交えたユニット作りを実施していき、「一人ひとり暮らし方」を考え、検討していく。また職員指導において「ほうれんそう」の伝達方法を明確にし、職員お互いが育ちあえる関係性をチームで作っていき、働きやすい職場となるように、また人材の安定を図っていきたい。

③ 年間事業計画(予定)

4 月	お花見・造幣局の桜の通り抜け (であい・きずな合同)	10 月	運動会
5 月	母の日	11 月	作品展&バザー
6 月	父の日	12 月	クリスマス会・忘年会
7 月	花火大会	1 月	初詣・新年会
8 月	納涼祭(きずな合同)	2 月	節分
9 月	敬老の日	3 月	ふらっと楽しむ住吉(出店)
日清 イベント 食	串カツ・天ぷら・パイキング BBQ・魚の解体ショー	各ユニッ トでの活 動	ユニットでの外出・催しの実施 食事作り
地域に 向けて	なごみ食堂・保育所、小学校交流 誠心老人会参加・ボランティアさんとの交流・住吉大社のお田植え 他・・・。	個別での 活動	入居者さん一人ひとりに沿った活動 の機会を作る・個別企画の実施 クラブ活動・日曜ワイワイ 等
研 修 計 画	★部門内研修:ユニットケア、感染症、食中毒、リスク、身体拘束・虐待、認知症、新人研修 等 ★法人研修:各職員に沿って参加 ★外部研修:認知症介護実践者研修・ユニットケア全国実践者セミナー・宅老連研修 シーティング・ポジショニング研修・医療的ケア教員講習会(喀痰吸引指導看護師) 喀痰吸引研修・DCM マッピング研修 等		